

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みません。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・インド株式オープン

第15期（決算日 2019年9月30日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 込		投資信託証券 組入比率	純資産額
		分配金	期中 騰落率		
11期 (2015年9月30日)	円 13,634	円 0	% △ 1.7	% 98.0	百万円 89,835
12期 (2016年9月30日)	12,372	0	△ 9.3	98.3	77,003
13期 (2017年10月2日)	14,884	1,000	28.4	98.4	91,671
14期 (2018年10月1日)	14,937	0	0.4	96.5	91,568
15期 (2019年9月30日)	13,836	0	△ 7.4	98.6	81,654

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

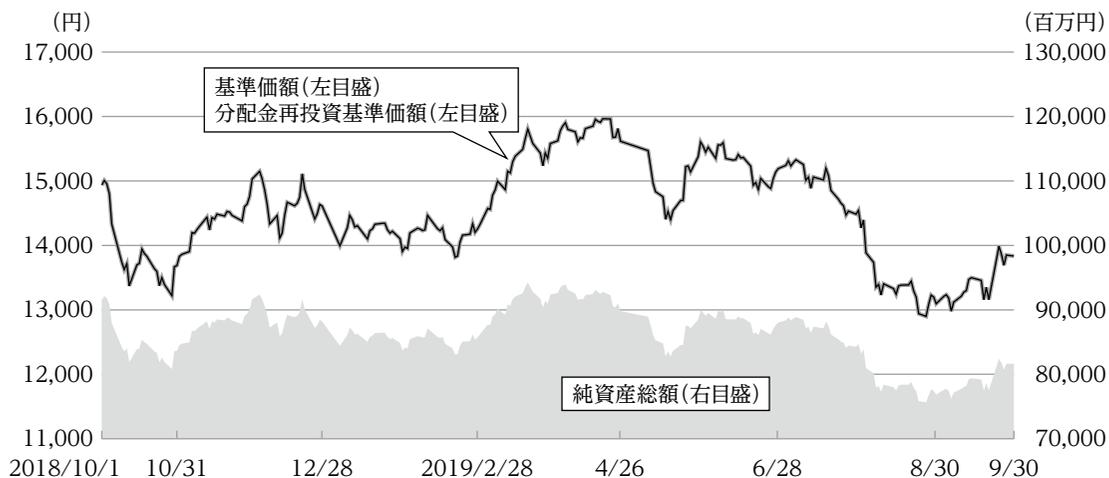
年 月 日	基準価額	騰 落 率	
		騰 落 率	投資信託証券 組入比率
(期 首) 2018年10月1日	円 14,937	% —	% 96.5
10月末	13,689	△ 8.4	98.6
11月末	15,032	0.6	99.0
12月末	14,610	△ 2.2	99.2
2019年1月末	13,952	△ 6.6	99.2
2月末	14,259	△ 4.5	99.3
3月末	15,581	4.3	98.6
4月末	15,615	4.5	99.1
5月末	15,524	3.9	98.6
6月末	15,190	1.7	98.7
7月末	14,275	△ 4.4	98.6
8月末	13,095	△12.3	99.0
(期 末) 2019年9月30日	13,836	△ 7.4	98.6

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2018年10月2日～2019年9月30日)



第15期首	14,937円
第15期末	13,836円 (既払分配金0円)
騰落率	-7.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・投資家のリスク回避姿勢が強まった局面で円が買われ、為替がインドルピー安円高となったこと。

インド株式市場

期初は、一部のノンバンクで発生した債務不履行が発端となってノンバンクセクターの流動性低下に対する懸念が高まり、インド株式市場は下落しました。2018年11月はインド準備銀行（中央銀行、RBI）による流動性の供給や原油価格下落の影響を受け反発しました。2019年3月から4月にかけては、下院総選挙でのモディ首相率いるインド人民党（BJP）の勝利への期待が高まって上昇基調となりました。5月前半は海外株式市場の下落に連れ安となりましたが、選挙最終投票日の出口調査でBJP優勢が示されたことにより株価は急反発し、その後、実際にBJPが圧勝したことを受けて一段高となりました。6月以降は利益確定売りなどに押されて軟調となりましたが、9月20日に法人税の大型減税が発表されると株価は急騰し、期末を迎えました。

為替市場

インドルピーは、2018年10月中旬から11月末まで原油安を背景に対米ドルで上昇しました。2019年1月まで変動性の高い状況となりましたが、3月は外国人投資家からのインド株式市場への資金流入を受けてルピー高が進みました。8月初旬、米中対立の激化による中国景気の下振れ懸念から大幅安となった中国人民元に連られてアジア通貨安となる中、ルピーも大きく下落しました。その後9月はやや反発し、通期ではルピー高米ドル安となりました。

円は、2018年12月の米国株安や2019年8月の米中間の報復関税の応酬となった局面においてリスク回避の円買いが進み、対米ドルで上昇しました。通期では円の上昇幅が大きかったことから、ルピー安円高となりました。

国内債券市場

日本国債市場は、米国の金融引き締め観測が後退し、緩和期待が強まって米国債利回り低下（価格は上昇）が続く中で、2019年8月まで利回り低下傾向が続きました。9月前半に米中貿易摩擦の緩和期待などを背景に投資家のリスク選好が強まって米国債利回りが上昇（価格は下落）したことに連られて日本国債利回りも一時上昇しましたが、通期では利回り低下となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘

柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、2018年7－9月期の決算で純利益が市場予想を下回って失望売りが出た医薬品メーカーのサン・ファーマシューティカル・インダストリーズやシプラの保有などがマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第15期	
	2018年10月2日 ～2019年9月30日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,615

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドア・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドア・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。企業業績は、需要の回復や上向きの投資サイクルなどに支えられて、今後徐々に回復傾向を辿ると見られています。9月20日に大型の法人税減税が発表されました。法人税がアジア各国並みに引き下げられたことでインド製造業の競争力が高まるとみられ、直接投資の増加につながる事が期待されます。引き続き改革の進展や景気動向に着目しつつ、国内の経済活動の活発化によって恩恵を受けると見られる銘柄の中でも、特にファンダメンタルズが強固で割安な

銘柄に注目しながら、選別投資を行っていく方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

長期債利回りは日銀が容認する変動幅の範囲内で推移すると見られます。

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2018年10月2日～2019年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	193円	1.322%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、14,620円です。
(投信会社)	(79)	(0.539)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(110)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	193	1.324	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

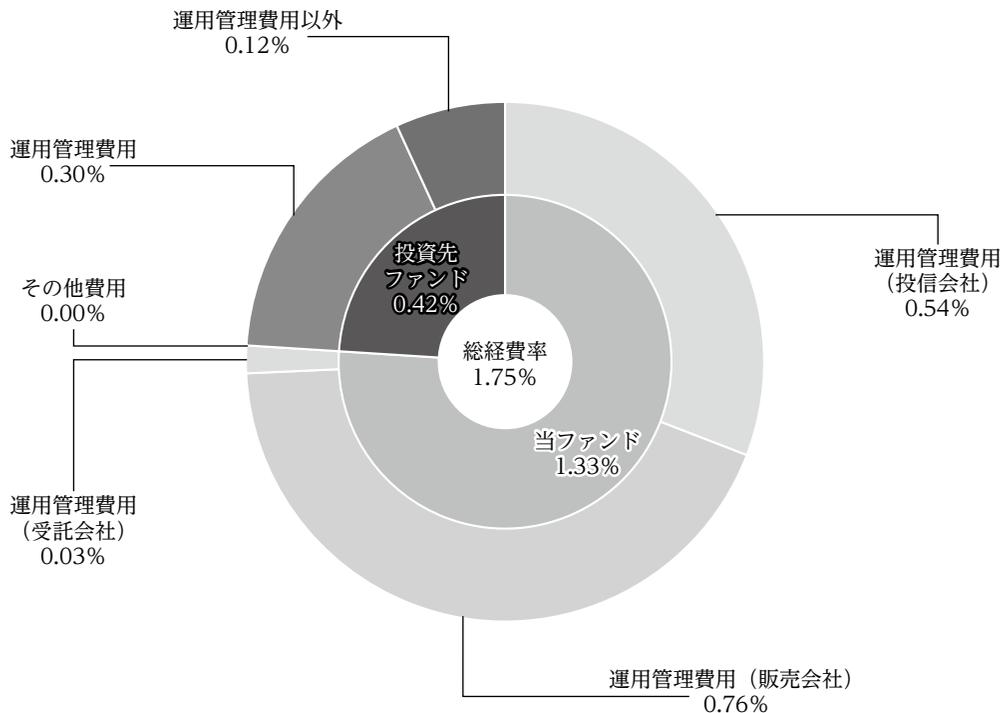
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率 (①+②+③)	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2018年10月2日から2019年9月30日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			932	33,000	1,475	56,500

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2018年10月2日から2019年9月30日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2019年9月30日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	401,177	401,177	439,048	0.5
合 計	401,177	401,177	439,048	0.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	21,264	20,721	742,230	80,101,539	98.1
合 計	21,264	20,721	742,230	80,101,539	98.1

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2019年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	439,048	0.5
投 資 証 券	80,101,539	97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,922,179	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	82,462,766	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(80,317,379千円)の投資信託財産総額(82,462,766千円)に対する比率は97.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年9月30日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.92円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	82,678,546,681円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,706,227,001
投資信託受益証券(評価額)	439,048,503
投資証券(評価額)	80,101,539,977
未 収 入 金	431,731,200
(B) 負 債	1,024,462,312
未 払 金	215,780,000
未 払 解 約 金	245,490,908
未 払 信 託 報 酬	562,394,403
未 払 利 息	5,001
そ の 他 未 払 費 用	792,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	81,654,084,369
元 本	59,015,118,795
次 期 繰 越 損 益 金	22,638,965,574
(D) 受 益 権 総 口 数	59,015,118,795口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,836円

(注1) 元本の状況

期首元本額	61,303,263,804円
期中追加設定元本額	8,034,460,462円
期中一部解約元本額	10,322,605,471円

(注2) 1口当たり純資産額は1,3836円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2018年10月2日 至2019年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,340,206円
支 払 利 息	△ 1,340,206
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,081,783,549
売 買 益	526,554,636
売 買 損	△ 5,608,338,185
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,141,056,372
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	△ 6,224,180,127
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,550,370,356
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	25,312,775,345
(配 当 等 相 当 額)	(29,136,520,981)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,823,745,636)
(G) 計 (D + E + F)	22,638,965,574
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	22,638,965,574
追 加 信 託 差 損 益 金	25,312,775,345
(配 当 等 相 当 額)	(29,136,520,981)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,823,745,636)
分 配 準 備 積 立 金	4,003,845,022
繰 越 損 益 金	△ 6,677,654,793

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(29,136,520,981円)および分配準備積立金(4,003,845,022円)より、分配対象収益は33,140,366,003円(10,000口当たり5,615円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型		
表示通貨	米ドル		
運用の基本方針	インドの株式を主な投資対象とし、中長期的なトータル・リターンを最大限の獲得を目指した運用を行います。		
主な投資対象	インドの金融商品取引所に上場されている株式		
ベンチマーク	MSCI India Total Return Net Index (MSCIインド指数 (税引き後配当再投資)) ※1		
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited	
手数料等	申込手数料	ありません。	
	運用報酬	(純資産額50万米ドル以下の部分)	年率0.35%
		(純資産額50万米ドル超の部分)	年率0.30%
	管理報酬等	年率0.25% (上限)	
上記には、監査費用、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が含まれます。			
設立日	2004年9月29日		
決算日	毎年8月31日		

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募		
表示通貨	日本円		
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債		
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) ※2		
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 		
申込手数料	ありません。		
信託報酬	年率0.216% (税抜0.2%)		
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。		
信託設定日	2002年8月26日		
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)		

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2018年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2018年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	17,680,065
受取利息	2,536
	<hr/>
	17,682,601
	<hr/>

費用

運用報酬	2,987,750
保管銀行費用	561,010
計算事務費用	271,586
管理費用	215,517
専門家報酬	42,657
監査報酬	32,000
税金手数料	30,792
取引手数料	8,680
銀行手数料	4,546
免許登録費用	4,250
売買委託手数料	2,616,470
	<hr/>
	6,775,258
	<hr/>

投資及び外国為替取引における実現及び未実現利益（損失）

投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	89,080,850
外国為替取引に係る純利益（損失）	(3,541,087)
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	(29,732,170)
	<hr/>
	55,807,593
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額

税金	66,714,936
	<hr/>
	(472,343)
	<hr/>
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	66,242,593
	<hr/>

投資有価証券明細表

2018年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
株式:				
Aditya Birla Fashion and Retail Limited	4,328,115	10,998,381	12,113,144	1.23%
Axis Bank Limited	5,964,850	46,385,197	54,602,066	5.56%
Bandhan Bank Limited	379,272	2,505,529	3,715,422	0.38%
Bank Of Baroda	9,623,307	25,278,724	20,752,547	2.11%
Cipla Limited	2,573,000	21,849,757	24,021,148	2.44%
Coal India Limited	3,639,498	15,546,959	14,673,347	1.49%
CREDITACCESS GRAMEEN LIMITED	869,625	5,259,909	4,719,912	0.48%
Crompton Greaves Consumer Electricals Limited	3,961,704	14,033,384	13,989,450	1.42%
Dr Reddy's Laboratories Ltd	192,074	6,722,358	6,748,608	0.69%
Gail (India) Limited	4,773,328	16,794,043	25,049,280	2.55%
Godrej Consumer Products Limited	982,699	8,973,712	20,120,075	2.05%
Gujarat Pipavav Port Limited	6,413,652	13,597,909	10,046,552	1.02%
Hero MotoCorp Limited	395,215	22,495,551	18,131,005	1.85%
Hindalco Industries Limited	6,341,605	16,577,432	21,275,633	2.17%
Hindustan Petroleum Corporation Limited	5,148,301	29,103,337	18,422,694	1.88%
Hindustan Zinc Limited	1,806,789	6,051,070	7,630,875	0.78%
Housing Development Finance Corporation Limited	2,689,671	47,129,788	73,416,029	7.47%
ICICI Bank Limited	8,483,952	34,799,141	40,981,057	4.17%
Idea Cellular Limited	9,353,356	14,652,489	6,508,070	0.66%
Infosys Limited	4,291,710	60,044,021	87,201,123	8.88%
ITC Limited	9,385,697	32,175,465	42,326,317	4.31%
Larsen & Toubro Limited	1,903,884	25,706,143	36,763,425	3.74%
LIC Housing Finance Limited	2,514,805	16,117,853	18,469,548	1.88%
Mahanagar Gas Limited	1,023,818	9,071,861	12,497,204	1.27%
Mahindra & Mahindra Financial services Limited	1,286,004	8,712,338	8,869,149	0.90%
Mahindra & Mahindra Limited	2,190,771	26,130,347	29,816,515	3.03%
Marico Limited	3,667,074	13,735,729	19,101,740	1.94%
Max Financial Services Limited	2,110,577	10,787,456	13,332,920	1.36%
Mindtree Limited	1,120,695	11,027,101	17,613,393	1.79%
Mphasis Limited	807,798	7,801,950	14,350,628	1.46%
Multi Commodity Exchange of India	400,191	6,545,550	4,672,483	0.48%
NMDC Limited	3,242,224	6,108,644	5,097,010	0.52%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
Ramco Cements Limited	1,007,031	12,429,852	9,787,690	1.00%
Reliance Industries Limited	5,228,472	54,172,469	91,531,710	9.32%
Sun Pharmaceutical Industries Limited	3,068,995	25,637,011	28,249,267	2.88%
Tata Consultancy Services Limited	2,192,251	41,736,335	64,241,697	6.54%
Tata Motors Limited	3,606,280	23,926,633	13,601,313	1.38%
Tata Motors Limited - DVR	8,153,160	23,436,013	16,329,196	1.66%
Tata Steel Limited	2,636,691	19,807,019	22,323,888	2.32%
Tata Steel Limited (Partially paid)	164,612	385,665	364,267	0.04%
Vedanta Limited	1,785,410	6,100,756	5,731,900	0.58%
Vijaya Bank	13,560,120	13,285,421	12,226,487	1.24%
		813,636,301	971,415,788	98.92%
その他資産			10,583,016	1.08%
純資産			981,998,804	100.00%

「イーストスプリング・インド株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド(国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018/2/27 ～2019/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.215%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,858円です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	(15)	(0.140)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(a) 信託報酬 (販売会社)	(2)	(0.022)	
(a) 信託報酬 (受託会社)	(6)	(0.054)	
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(b) その他費用 (監査費用)	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
(b) その他費用 (その他)	(0)	(0.000)	
合計	24	0.229	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内(邦貨建) 公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	648,000	696,257	96.5	—	40.2	24.3	32.0	
合計	648,000	696,257	96.5	—	40.2	24.3	32.0	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
国内（邦貨建）公社債
組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第300回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,008	2019/03/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,132	2019/06/20
	第305回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,084	2019/12/20
	第306回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,336	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,460	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	50,764	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,762	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,638	2021/06/20
	第351回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,796	2028/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	41,496	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	52,442	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	42,572	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	31,813	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	54,290	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	49,754	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	22,773	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	43,489	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	64,268	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	59,372	2026/09/20
合 計			648,000	696,257	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。